

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション流通業に必要なとされるファッションビジネスに関する基礎を学びながら、ファッションビジネス能力検定3級資格の取得を目指す。さらに企画について情報活用・提案までを理解し、2年次以降のビジネス応用につなげる。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			グローバルビジネスI	グローバルファッションとは何か？世界のファッション構造はどの様になっているのか？何故今、グローバルな思考が重要なのか？グローバルで戦う為に必要な国際意識を植え付け、創造的な“検索力・情報収集力”“分析力・編集力”を磨き、“正解のない問題に対して、考える力・解決する力”を鍛え、“伝える力”を育成。また、国際社会で重要な“議論する力”“質問力”を磨き、人工知能が持たない創造性豊かなビジネス思考を育成。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			マーケットリサーチ	目的を持って情報収集し整理分析する力、アイデアを出す力を身につける。そのためマーケティングの基礎であるリサーチから始め、その情報をもとにどのようにアパレル業界は運営されているのか、講義、実習を通して学ぶ。また「調べる・見る・聞く」の実践を通し、客観的にモノを見ることの重要性を理解する。	1・通年	90	3	○		△	○	△	○		
○			アパレル造形演習I	アパレル商品への理解を深めることを目標に下半身の体型を理解し、パンツの構造・機能性を学ぶ。バザー作品制作において、商品としての知識や検品のポイントについて学ぶ。上半身を装うシャツ・ブラウスの構造・機能性を学ぶ。	1・通年	120	4	△	○		○		○		
○			アパレル商品論I	講義・実習を通し、ファッション業界に必要な商品知識を習得、向上させる。また、グローバルに活躍する人材として、グローバルファッションのトレンドや地域性による商品の違いを商品やコレクション、雑誌の情報から知る。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			アパレル素材論	アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力を養わせることを教育目標とする。布地を理解し商品対応するには、布の構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの各々の種類、性質などを複合的に捉える必要があるため、授業は繊維から系統的に展開し、講義に加え、演習・実験・実習を含め理解を促し、実践的なものにする。レベルは、高度専門士としてファッションビジネスに携わるための礎を得られる設定である。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッション色彩	ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎、ファッションカラーコーディネートについて学び、ファッション流通の現場で生かすことを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2		△		○	○		○	
○			ファッション販売	販売員の仕事を理解し、知識と技術を体得する。販売員として、お客様を「おもてなしする」という意識付けや知識、技術を習得する。社会人に必要な言葉遣いや立ち居振る舞い（販売マナー・ビジネスマナー）を習得する。	1・後期	30	1		△		○	○		○	
○			ファッション史	古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾の特長を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を見ていく。20世紀以降はデザイナーの時代であり、デザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からのアプローチによって理解を深める。	1・通年	60	2	○				○		○	
○			コンピュータワークI	オフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じて使い分けることができることと表現方法に広がりを持たせることを目標とする。また、クラウドを活用してのデータ共有等の現場活用できる利用方法を習得する。 ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 オフィスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2		△		○	○		○	
	○		ニットA (造形選択a)	ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）について学ぶ。棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得する。	1・前期	30	1		△		○	○		○	
	○		ニットB (造形選択a)	ファッションアイテムとしてコーディネートに活用できるニット小物を製作する。	1・後期	30	1		△		○	○		○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ソーイングaA トップス (造形選択a)	ニット(カットソー)のトップスを制作 スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立て のトップスを制作する。 マスターパターンと既存のパターンを用いて各自の デザインに応じた縫製方法を理解させる。 発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	1・前期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングaB トップス (造形選択a)		1・後期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングbA ボトム (造形選択a)	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品 を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。 各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理 解させる。	1・前期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングbB ボトム (造形選択a)		1・後期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングcA ワンピース (造形選択a)	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワン ピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザ インに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワ ンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースま たはノースリーブワンピースをベースに応用発展さ せる。	1・前期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングcB ワンピース (造形選択a)		1・後期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングdA (造形選択a)	各自のコーディネートに足すことでより良く表現で きるアイテム(小物)を制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザ インに応じた制作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に 着ける。	1・前期	30	1	△			○	○	○		
	○		ソーイングdB (造形選択a)		1・後期	30	1	△			○	○	○		
	○		アートフラワーA (造形選択a)	アートフラワーの技術を基礎として、さまざまな コーディネートに使用できるアクセサリー作りを学 ぶ。	1・前期	30	1	△			○	○	○		
	○		アートフラワーB (造形選択a)		1・後期	30	1	△			○	○	○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ハンディワークA (造形選択a)	ハンディワークの基礎知識(カラーエンボイダリー、ビーズエンボイダリー、スパングルエンボイダリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。 実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ハンディワークB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子aA (造形選択a)	アクセサリーの基礎として、布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子aB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子bA (造形選択a)	①ファッションコーディネートに活用される帽子の応用編 ②ヘッドドレスを2点制作する	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子bB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		バッグA (造形選択a)	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		バッグB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ファッションデザイン画aA (造形選択a)	今まで身につけた基礎内容のファッションデザイン画に、応用テクニックをプラスして様々な画材を使い特徴のある素材表現やデザイン発想ができるよう指導に努める。 学生個人の感性を尊重しファッションデザイン画表現を目標とする。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ファッションデザイン画aB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ファッションデザイン画bA (造形選択a)	今まで身につけた基礎内容のファッションデザイン画に、応用テクニックをプラスして様々な画材を使い特徴のある素材表現やデザイン発想ができるよう指導に努める。 学生個人の感性を尊重しファッションデザイン画表現を目標とする。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ファッションデザイン画bB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		染色A (造形選択a)	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル制作に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	1・前期	30	1	△		○	○			○	
	○		染色B (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○			○	
	○		着物着付けA (造形選択a)	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方ができるよう技術を身に着ける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		着物着付けB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		日本のサブカルチャー史A (造形選択a)	漫画、アニメ、映画、音楽などのサブカルチャーを具体的に鑑賞することで、戦後日本の社会と歴史の変遷について学習する。加えて、それぞれのサブカルチャー的表現の特長(例えば、漫画特有の表現とは何か)を学び、日常的なサブカルチャー体験において活かしてもらうことを目標とする。	1・前期	30	1	○			○		○		
	○		日本のサブカルチャー史B (造形選択a)		1・後期	30	1	○			○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		映画から見るファッション(造形選択a)	ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代前半)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。	1・前期	30	1	○			○		○		
	○		映画から見るファッション(造形選択a)	ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代前半)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。	1・後期	30	1	○			○		○		
○			自由研究	グローバルビジネスデザイン科の4カ年で実施する「マイビジネスプロジェクト」立案に向けて1年次において自らの方向性を確立させるべく、様々な物事に対して「調べる・見る・聞く」を実践。その都度記録を残す習慣をつけるために、自由研究ファイルを作る。最終的には、成果発表を実施する。	1・通年	60	2	△		○	○	△	○		
		○	短期語学留学 a	グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	1・集中	30	1		○				○		○
	○		ファッション英会話(語学選択A)	基礎の英文法を学んでいる学生を対象としたコース。ファッション関係のトピックを中心に英語表現に慣れ、初級程度の会話ができるようになる事を目指す。	1・前期	30	1	○	△		○				○
	○		ファッション英会話(語学選択B)		1・後期	30	1	○	△		○				○
	○		Oral Communications(語学選択A)	この授業はクラスメイトとさまざまなトピックについて英語でコミュニケーションをとることを目標とする。授業はすべて英語で行われる。	1・前期	30	1	○			○			○	
	○		Oral Communications(語学選択B)		1・後期	30	1	○			○			○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		TOEIC (語学選択A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、TOEIC テスト対策として、リスニング、リーディングセクションを学習し、学生のスコア目標に到達するようにする。リスニングに関しては、話し言葉になれ、リーディングについては、文法の復習を取り入れ、語彙力もつけながら、速読読解を目指す。実際のビジネスシーンでもよく使われているフレーズも学習するので、将来的にもビジネスの場で役立つ。レベルは初級の中位から上位まで。	1・前期	30	1	○			○		○		
	○		TOEIC (語学選択B)		1・後期	30	1	○			○		○		
	○		中国語 (語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・前期	30	1	○	△		○			○	
	○		中国語 (語学選択B)		1・後期	30	1	○	△		○			○	
	○		日本語 (語学選択A)	留学生のための中上級レベルの日本語授業。留学生が本科の授業を理解し、自ら日本語でアウトプットする能力を身につけることを目標とする。中級会話テキストを使用し、様々な場面での適切な表現を学ぶ。学生が主体的に学べるようペア活動、グループ活動を取り入れる。また専門用語や知識の習得のため、「ファッション基礎用語集」およびファッション関連ニュース発表を行う。	1・前期	30	1	○	△		○			○	
	○		日本語 (語学選択B)		1・後期	30	1	○	△		○			○	
○			キャリアディベ ロップメントIA	学生個々のキャリアを具体化し、自分のやりたいことを明確にして後期に繋げていく。	1・前期	30	1	○	△		○		○		
○			キャリアディベ ロップメントIB	フィールドワーク課題、自由研究課題を通し、「(読み)・聴く・書く・話す力」を養う。 世の中に関心がもてるようになる。 人前で自分の意見を堂々と言えるようになる。 プレゼンテーションを通し、自分のことを表現できるようになる。 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う。	1・後期	30	1	○	△		○			○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別講義 I	個々に持つファッションへの興味を「マイビジネスプロジェクト」として結実させるために、ぜひとも知っておきたい生活文化や人文科学の分野などから特別講義として実施する。 レギュラー授業の中に収めることが難しいが、学びの入り口として重要な要素を特別講義として導入。 ファッションを知り、ビジネスを知り、自分を知る中で大切な視点を反映させる。	1・通年	60	2	○			○		○	△	
○			校外研修 I	学内における平常授業ではなかなか学びきれないコミュニケーション力や表現力をアップさせるために実施する。	1・前期	30	1		○			○	○		
合計				18科目							1020単位時間			34単位	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価を受け修了すること	1 学年の学期区分	前・後期
	1 学期の授業期間	15週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			グローバル ビジネスⅡ	グローバルな視点とクリエイティブな視点で、スピーディーに変化する世界のファッションビジネスの重要ポイントを分析。自分自身のビジョンを明確に、具体的にファッションビジネスへ反映させる思考の育成。そして、プレゼンテーションスキルを磨き、伝える事の重要性を学習。	2・ 通 年	60	2	○			○		○		
○			ビジネス プランニング	他者へと物事を伝える方法を学び、今後の活動へと応用できる技術を習得する。	2・ 通 年	90	3	○		△	○	△		○	
○			リテール マネジメントⅠ	ショップの管理・運営に視点を置き、ショップ運営の基本から、リサーチ・分析を通してMDやVMDなどの現状の把握を行い、提案へとつなげる。グループワークにて、ショップ運営計画の立案を行い、予実管理の方法を学ぶとともにコミュニケーション能力も養い高める。	2・ 通 年	60	2	○		△	○	△	○		
○			ファッション マーチャンダイ ジングⅠ	ブランド開発を基にファッションマーチャンダイジングについての基本知識の把握をする。	2・ 後 期	30	1	○		△	○		○		
○			売場計数	リテールビジネスにおいて必要となる売場計数の基本的知識の修得を目標とする。売場でのコミュニケーションを円滑にするために必要となる計数用語を理解すること、計算演習を通して最低限の計数管理業務ができるようになることを目指す。	2・ 前 期	30	1	○	△		○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ネットビジネス I	インターネットをはじめとした先端テクノロジーがファッション業界に与える影響を理解し、ネットとリアルの特徴を生かしたビジネスの企画立案ができるようになることを目標とする。	2・通年	60	2	○		△	○		○		○
○			アパレル造形演習 II	スカートの基礎知識と下半身の体型を理解し実物作品を完成させ、製作を通して素材の扱い方・構造・機能性・品質を学ぶ。 バザー作品は商品をとおして製作・検品のポイントを学ぶ。 ブルゾン製作を通して素材の扱い方・構造・機能性・品質を学ぶ。	2・通年	120	4	△		○	○		○		
○			アパレル商品論 II	講義・実習を通し、アパレル業界で必要な商品知識を習得、向上させせる。また商品がどのようにできるのか実習を通して理解を深める。	2・通年	90	3	○		△	○	△	○		
○			アパレル品質論	テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を理解し遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。 講義と演習により理解を深める。	2・後期	30	1	○		△	○		○		
○			色彩活用学	ファッションを中心としたビジネスの企画・販売における色の効果を知り、その活用方法を学ぶ。 自己のビジネスプロジェクトにおいて 企画コンセプトの表現や、ビジュアル表現、プレゼンテーションに色彩の効果的な活用を目指す。	2・前期	30	1	○	△		○		○		○
○			デザイン論	19世紀末から今日までのデザイン（主にファッション以外）の歴史や視点を学習し、芸術や文化に対する教養を深める。 身の回りのいろいろなデザインを自分自身の視点で判断するための知識や感性を養う。	2・通年	60	2	○			○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コンピュータワークⅡ	1年次に基礎として学んだオフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じた使い分けをして臨機応変な方法でコンピュータを扱うことができることを目標とする。Webサイトを扱っていく上で必要な操作方法も扱っていく。	2・通年	60	2	△		○	○		○		
	○		ニットA (造形選択b)	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)について学ぶ。 棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得する。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ニットB (造形選択b)	ファッションアイテムとしてコーディネートに活用できるニット小物を製作する。	2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングaA トップス (造形選択b)	ニット(カットソー)のトップスを制作 スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングaB トップス (造形選択b)	マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	2・後期	30	1	△		○	○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ソーイングbA ボトム (造形選択b)	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングbB ボトム (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングcA ワンピース (造形選択b)	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた製作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングcB ワンピース (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングdA (造形選択b)	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた製作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイングdB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		アートフラワーA (造形選択b)	アートフラワーの技術を基礎として、さまざまなコーディネートに使用できるアクセサリ作りを学ぶ。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		アートフラワーB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ハンディワークA (造形選択b)	ハンディワークの基礎知識(カラーエンボイダリー、ビーズエンボイダリー、スパンゲルエンボイダリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。 実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ハンディワークB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		帽子aA (造形選択b)	アクセサリーの基礎として、布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子aB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子bA (造形選択b)	①ファッションコーディネート演習に活用される帽子の応用編 ②ヘッドドレスを2点制作する	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子bB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		バッグA (造形選択b)	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		バッグB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ファッションデザイン画aA (造形選択b)	今まで身につけた基礎内容のファッションデザイン画に、応用テクニックをプラスして様々な画材を使い特徴のある素材表現やデザイン発想ができるよう指導に努める。 学生個人の感性を尊重しファッションデザイン画表現を目標とする。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ファッションデザイン画aB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ファッションデザイン画bA (造形選択b)	今まで身につけた基礎内容のファッションデザイン画に、応用テクニックをプラスして様々な画材を使い特徴のある素材表現やデザイン発想ができるよう指導に努める。 学生個人の感性を尊重しファッションデザイン画表現を目標とする。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ファッションデザイン画bB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○			○	
	○		染色A (造形選択b)	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル制作に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1	△		○	○				○
	○		染色B (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○				○
	○		着物着付けA (造形選択b)	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身につける。 設定時間内に着方ができるよう技術を身につける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	2・前期	30	1	△		○	○			○	
	○		着物着付けB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○			○	
	○		日本のサブカルチャー史A (造形選択b)	漫画、アニメ、映画、音楽などのサブカルチャーを具体的に鑑賞することで、戦後日本の社会と歴史の変遷について学習する。加えて、それぞれのサブカルチャー的表現の特長（例えば、漫画特有の表現とは何か）を学び、日常的なサブカルチャー体験において活かしてもらうことを目標とする。	2・前期	30	1	○			○			○	
	○		日本のサブカルチャー史B (造形選択b)		2・後期	30	1	○			○			○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		映画から見るファッションA (造形選択b)	ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代前半)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。	2・前期	30	1	○			○		○		
	○		映画から見るファッションB (造形選択b)	AdobeのPremiereを実際に使用し、編集を学ぶ。Premiereの実技だけではなく、映像編集を行う前段の企画・撮影にも触れる。最終的にはPremiereにて基本的な編集を一人で行えるようになることを目的とする。	2・後期	30	1	○			○		○		
	○		パソコンスキル映像編集A (造形選択b)	グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	2・前期	30	1	○			○		○		
		○	短期語学留学b	将来のキャリアを視野に入れ、産業界の現状を理解し、実務の経験を積むことを目的とする。3年次の長期インターンシップにつなげる研修とする。	2・後期集中	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップa	文法の確認をしつつ、英語表現のレベルアップを目指すコース。平易だが正しい英語で自分のいいことを口頭で表現するというを第一の目標とする。	2・後期集中	30	1			○		○	○		
○			ENGLISH COMMUNICATION I		2・通年	60	2	○	△	△	○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス英語 I	この授業はグローバルビジネスデザインコースの学生を対象とする。この授業では挨拶から交渉におけるまでのビジネス場面を想定した国際コミュニケーションについて取り扱う。またビジネスプレゼンテーションに加え、パンフレットや履歴書の書き方についても取り扱う。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
		○	ファッション英会話 (語学選択A)	基礎の英文法を学んでいる学生を対象としたコース。ファッション関係のトピックを中心に英語表現に慣れ、初級程度の会話ができるようになる事を目指す。	2・前期	30	1	○	△		○			○	
		○	ファッション英会話 (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○			○	
		○	Oral Communications (語学選択A)	この授業はクラスメイトとさまざまなトピックについて英語でコミュニケーションをとることを目標とする。授業はすべて英語で行われる。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	Oral Communications (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○		○		
		○	TOEIC (語学選択A)	基本的な英文法を学んだ学生を対象に、TOEIC テスト対策として、リスニング、リーディングセクションを学習し、学生のスコア目標に到達するようにする。リスニングに関しては、話し言葉になれ、リーディングについては、文法の復習を取り入れ、語彙力もつけながら、速読読解を目指す。実際のビジネスシーンでもよく使われているフレーズも学習するので、将来的にもビジネスの場で役立つ。レベルは初級の中位から上位まで。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	TOEIC (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○		○		



## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科2年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	中国語 (語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	中国語 (語学選択B)	初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・後期	30	1	○	△		○		○		
		○	日本語 (語学選択A)	留学生のための中上級レベルの日本語授業。留学生が本科の授業を理解し、自ら日本語でアウトプットする能力を身につけることを目標とする。中級会話テキストを使用し、様々な場面での適切な表現を学ぶ。学生が主体的に学べるようペア活動、グループ活動を取り入れる。また専門用語や知識の習得のため、「ファッション基礎用語集」およびファッション関連ニュース発表を行う。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	日本語 (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○		○		
○			キャリアディベ ロップメントⅡ	ケースワークやゲストの話を通じ、将来的に自分らしいキャリアを選択できる力を磨く。様々な企業、職種、働き方への理解を深め、広い視野でキャリアを考えられるようになる。必要な情報を入手するためのリサーチ力、質問力を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅱ	展示会見学、現場で働く方の講義を通じて、幅広く業界の知識を深める。	2・通年	60	2	○			○		○		
合計					18科目			1020単位時間(			34単位)				

  

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			マイビジネスプロジェクトⅠ	興味がある、好きだといった服飾、またはそれにまつわるサービスを、マーケットの調査、ターゲットの調査等を行い、市場、ターゲットに行かに新鮮な体験とビジネスとしての収益性があるかを、具現化することができるプランにしていくステップを学ぶとともに、自らの企画のビジネスモデルと事業コンセプトを企画し、4年次の最終プランの基礎作りをマンツーマンのアドバイスをしながら行う。	3・通年	150	5	○	○		○			○		
○			長期インターンシップ	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 ファッション流通分野での 後期9月初めから10月末の2か月間におよびインターンシップ研修を実施。 各自のビジネスプラン「マイビジネスプロジェクト」に関連した自己開拓による国内外のインターンシップ。	3・後期	150	5		○			○		○	○	
○			キャリアディベロップメントⅡ	長期インターンシップ研修に向けた研修先の交渉・確保・手続きなど学生の主体的な準備のフォロー・サポートから、研修後のレポート作成や発表など、結果の検証までを指導することを目標とする。	3・通年	60	2	○		○	○		○			
○			グローバルマネジメントⅠ	グローバルな視点を前提に、ファッションビジネス業界のビッグビジネスとスモールビジネスの現状にマクロ・ミクロ双方からアプローチし、ブランドビジネスの立案からグローバル展開までを視野に入れた発表まで行う。	3・通年	60	2	○		△	○				○	
○			プロモーション	実際の現場で実地実践を通して、プロモーションの本質 集客 周知 イベント企画 運用 マネジメント力を学ぶ。	3・通年	60	2	○		△	○				○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションマーチャンダイジングⅡ	時代の変化に柔軟に対応できるMDの育成。MDの目的や売上(公式)、売価、原価についてを学習し、MDプランニングの基本を実習を交えながら習得する。	3・通年	60	2	○		△	○		○		○
○			イベントプランニング	企画立案からコンテンツ準備、関係者調整、予算調整、広告宣伝、当日の運用までの一貫したプロジェクト運用と応用力を養う。座学だけでなく、教室を出ての実地実践を通して、イベントの本質理解とプロデュース力、マネジメント力、プロモーション力の醸成を狙う。	3・後期	30	1	○		△	○		○		○
○			貿易実務	貿易の基本的流れを理解することを主たる目的とする。実社会に出てから、役に立つ程度の基礎知識レベル。	3・通年	60	2	○			○	△	○		
○			アカウンティング	全講通しての目標としては、アカウンティングの意味を理解すること、財務諸表を読めるようになること、財務的な視点からビジネスを捉えることができるようになることとする。経理および英文経理についての習得は、コース全体の方向性と異なっているため目標としない。あくまで、ファッションビジネスに活かす、経営感覚を養う、グローバルに活躍できる人材を育成することを目標に、講義内容を設定している。	3・後期	30	1	○	△		○		○		
○			美学	本講義では美とは何か、芸術とは何かを美学の理論から講義し、受講生の皆さんと共に美の現在を考えていく。「美しい」ことは必ずしも「芸術的」であるとは限らない現代芸術を読み解く力を身につけるべく、古典から現代までの各時代に特徴的な芸術作品の具体的な事例を通して「芸術」概念と人々の視座の変化を確認し、それがファッションにいかに応用されているのかも読み解く。基本的に演習形式で講義を進める。	3・後期	60	2	○			○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジュアルマー チャンダイジ ング	VMD の用語、目的、効果を知る。 VMD の業務内容とは何を行うのか、一通り演習する 事で理解する。 VP 見せる場のテクニックを演習から学び、訴求効果 のあるフェアのデザインプラン、演出プランがで きるようになる。	3・ 通 年	60	2	△	○		○		○		
	○		レザークラフト	素材としての革の知識を深める。 危険工具を扱う安全対策及び基礎知識の習得。 革の種類によって加工方法の違いを知る。	3・ 前 期	30	1			○	○		○		
	○		パーソナルカ ラー実践・演習	これまで学んできた色彩学・配色理論をベースに、 ファッションビジネスの現場で実践できるパーソ ナルカラーコンサルティング、カラー戦略としてパー ソナルカラーを習得する。似合う色を分析するド レーピング、クライアントへの対応スキル、アドバ イスシート・プランニングシートの作成等を通して コンサルティング力（分析・提案）やプランニング 力（企画・提案）を磨くことを目標とする。	3・ 前 期	30	1		○		○		○		
	○		デジタルPR演習	ファッションマーケティングが大きく変化する現 在、PRツールとしてのデジタルメディアの使い方が 重要になっています。ホームページ作成と動画編集 の演習をベースに、消費者の関心、興味、共感をど うやってつかめばいいのか。最新のテクノロジーや イノベーションに対応できる統合的なPRツールの習 得を目指す。使用ソフト/Adobe Photoshop / Adobe AfterEffect	3・ 前 期	30	1		△	○			○		
		○	短期語学留学 b	グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを 目的とする。 日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケー ション力を高める経験をするため。	3・ 後 期 集 中	30	1			○		○		○	
		○	インターンシッ プb	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と 業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的 とする。 期間を1週間とする。	3・ 後 期 集 中	30	1			○		○		○	
		○	インターンシッ プc	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と 業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的 とする。 期間を2週間とする。	3・ 後 期 集 中	60	2			○		○		○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターンシップd	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 期間を3週間とする。	3・後期集中	90	3		○			○			
○			ENGLISH COMMUNICATION II	文法の確認をしつつ、英語表現のレベルアップを目指すコース。平易だが正しい英語で自分のいいことを口頭で表現するということが第一の目標とする。	3・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ビジネス英語Ⅱ	この授業はグローバルビジネスコースの学生を対象とする。この授業は上級のリーディングテクニックに加え、ウェブサイトの作成や学期末のビジネスプロジェクトに焦点を合わせたライティングについても取り扱う。	3・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅲ	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	3・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	研修を通し学生同士 研修先へのコミュニケーション能力向上。 研修先での体験学習 企業見学 博物館見学から得られる 知識や創造性の領域を広げる。	3・後期	30	1			○		○	○		
合計					16科目	1020単位時間(					34単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価を受け修了すること	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			マイビジネスプロジェクト	3年までにマイビジネスプロジェクトのビジネスモデル、コンセプト、ターゲット、基本アイデアプランを基に、計数計画を持って、実現可能なMD、VMD、内装や陳列、サービス、顧客管理、接客方法、プロモーションを計画するとともに利益の出るプランを考え、プレゼンテーションをする。そのために各自マンツーマンで指導。	4・通年	150	5	○		△	○			○		
○			グローバルマネージメントⅡ	海外ファッション流通業の動向、問題点、この先の見通しと日本企業が海外展開する上での成功と失敗事例から、グローバルビジネスに欠かすことのできない様々な知見を習得。	4・通年	60	2	○		△	○		○			
○			プロモーション戦略	MBPの授業を基本としながら、そのプランに必要なプロモーションプランの作成を行う。プロモーションとは目的、目的達成のための数値目標を明確にし、その達成のためのメディア、ツール、クリエイティブとその効果と予算を決定し、PDCAで分析することであり、そのプロセスでプランニングを行う。各自のプランに合わせたプラン作成を行うため、マンツーマンでフォローアップしていく。	4・通年	60	2	○		△	○			○		
○			マーチャンダイジング戦略	マイビジネスプロジェクトへ向けてのサポートと就職してからも役立つMDの知識を身につける。3年次で学習したマーチャンダイジングの基本をベースに仕入れ設計や販売戦略、OTB計画策定から本格的なMD設計を実習する。	4・通年	60	2	○		△	○		○		○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			商品プロダクト戦略	アパレル産業の業務の内、生産実務についての理解を深める。アパレル製品の仕様や縫い目、副資材などの細部に至る品質を見極め、商品企画内容を生産に反映させるための基礎力をつける。生産依頼をする際の帳票の内容を理解し、作成ができるレベルを目指す。	4・通年	60	2	○		△	○		○		
○			Webマーケティング	アパレル系企業のマーケティング部門およびPR部署に就業した際、その後のキャリア形成において大きな貢献ができるようWebマーケティング領域の知識や経験を積むこと	4・通年	60	2	○		△	○		○		○
○			ファッションロー	ファッションビジネスに関連する法律について知的財産制度を中心に概略を紹介する。将来ファッションビジネスに携わる際の法的問題に“気づき”を得ることを目標とする。	4・前期	30	1	○			○			○	
○			ファイナンス	ビジネスの世界で「事業（戦略）」とともに車の両輪をなす「ファイナンス（戦略）」の基本的なエッセンスを学ぶ。会社に投資を行う投資家の思考を理解したうえで、ビジネスプラン（プロジェクト）にリアリティを出すためのファイナンス手法の理解を目標とする。	4・前期	30	1	○			○			○	
○			ユニバーサルファッション	「ファッション・装い」とはどのような意味があるのかを、健常者・障がい者・高齢者という枠ではなくユニバーサルな視点で捉え、クオリティオブライフの向上に通じるファッションについて、人体の経年変化に伴う形態機能障害や先天的あるいは後天的障害における身体機能の変化も踏まえ理解させる。	4・前期	30	1	○			○			○	
○			現代社会とファッション	グラフィックデザインの基本から、歴史構成、配色や市場のトレンド、さらにファッションを取り巻く政治、経済、文化、社会全体のグローバルな流行の操作を分析し、ファッションに不可欠な知識を会得する。	4・通年	60	2	○			○			○	

## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			国際政治学	世界政治の学習を通じて国際関係の基礎を理解することにより、グローバルなビジネスデザインに必須の思考の基礎体力をつくることを目的とする。	4・前期	60	2	○			○		○		
○			コーチング	自分を活かし、人を活かすコミュニケーションを学ぶことで、ビジネスの世界で自分の能力を開花し、「プロの表現者」へと成長すること。到達目標は「共有から共感にいたる聞き方」「相手の理解と共感を得る伝え方」をマスターすること。	4・後期	30	1	○			○			○	
		○	インターンシップf	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	30	1			○		○		○	
		○	インターンシップg	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	60	2			○		○		○	
		○	インターンシップh	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	90	3			○		○		○	



## 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターンシップi	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	120	4			○		○		○	
○			ENGLISH COMMUNICATIONIV	文法の確認をしつつ、英語での表現のレベルアップを目指すコース。平易だが正しい英語の文章で自分のいいたいことを口頭で表現するというを第一の目標とする。	4・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ビジネス英語IV	この授業はグローバルビジネスコースの学生を対象とする。この授業は上級のリーディングテクニックに加え、ウェブサイトの作成や学期末のビジネスプロジェクトに焦点を合わせたライティングについても取り扱う。	4・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義IV	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	4・通年	60	2	○			○			○	
○			卒業研究・創作	卒業研究創作テーマ：マイビジネスプロジェクトにおいて、実施検証した事柄について各自の発表のための準備実働時間。その後のコンテンツ配信、フィードバック考察までを学ぶ。	4・後期	120	4	△			○	○		○	
合計				16科目	990単位時間( 33単位)										
総合計				68科目	4050単位時間( 135単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。